

障害者白書のマルチメディアデイジー化

障害者基本法第13条に基づき、障害者のために講じた施策の概況について、毎年、政府が国会に提出する年次報告書である「障害者白書」については、平成28年版障害者白書（平成27年度の障害者施策の概況）より、マルチメディアデイジー化し内閣府のホームページにおいて公表している。

【内閣府ホームページ：http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h28hakusho/zenbun/index-w.html】



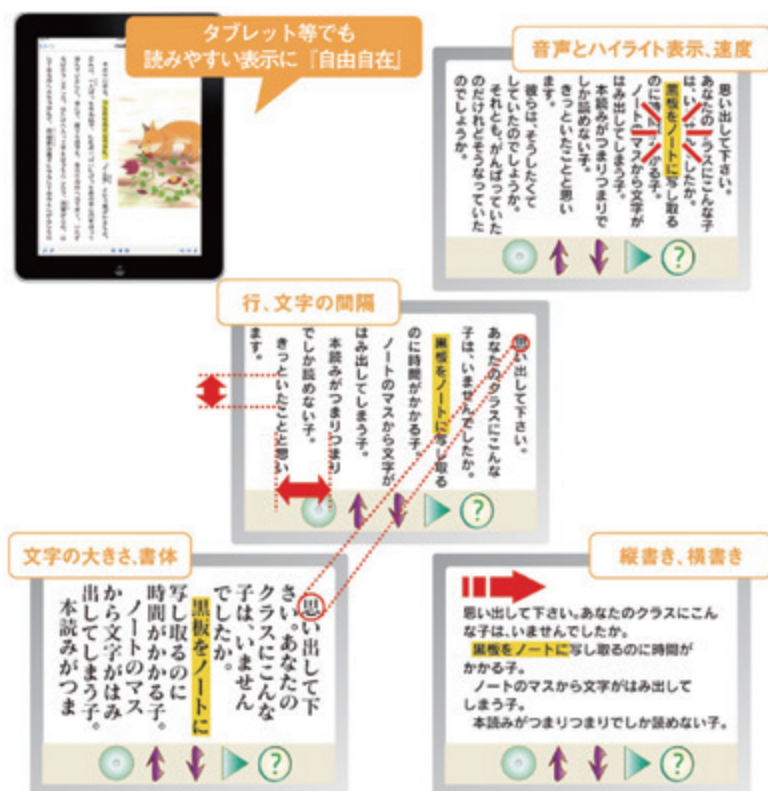
デージー（DAISY）とは、Digital Accessible Information SYstemの略であり、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセット等に代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、近年用いられている情報システムである。

我が国においては、近年、一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な発達障害等の児童生徒に対して、教科書の文字を音声で読み上げるとともに、読み上げ箇所がハイライトで表示される教材として製作され始めており、文部科学省においても、その普及促進に努めている。

マルチメディアデージー図書は、音声にテキストおよび画像をシンクロ（同期）させることができるため、使用者は音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵を見ることが可能である。マルチメディアデージー図書は、ITを活用した一人一人のニーズに合った「読み」のスタイルを可能にするもの（デジタル録音図書）であり、視覚障害者のほか、学習障害、知的障害、精神障害等のある人にとっても、今後も有効なツールとなっていくものと考えられる。

（マルチメディアデージーの特徴）

- 目次から読みたい章や節、任意のページに移ることが可能。
- 最新の情報圧縮技術で一枚のCDに50時間以上の収録が可能。
- 音声にテキスト、画像をシンクロ（同期）させることが可能。
- 再生ソフトの機能により、個々のニーズに合った読み方が可能。



図出典：公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会